

小地域懇談会を

振り返って

今年度も区長さんや自治会長さん、社会教育推進員のみなさんの協力により「自然災害と人権―地震、雷、火事、人権―」をテーマに、10月中旬から12月中旬まで、小地域懇談会を行いました。また、300人を超える推進者のみなさんには、大変お世話になりました。今回はアンケートをもとに、その概要について報告します。

〈参加者について〉

参加者数は1,302人、参加率は24・4%でした。普遍的な視点からの取り組みを始めて3年ですが、次第に増加しています。

参加者の男女比を見ると「男性63・0%」「女性30・6%」で、男性が、女性に比べて2倍以上という結果でした。男女共同参画が推進されている中で、女性の方の参加が望まれます。

参加者の年代では、「60代36・1%」「50代26・5%」「70代15・6%」でしたが、若い人の参加が望まれます。

〈参加回数について〉

「初めて〜5回」までが51・9%であり、集落によっては参加者の固定化が見られるようですが、全体的には新しい方の参加も多くあります。

〈話し合いの内容について〉

「とてもよかった18・8%」「よかった65・8%」という結果でした。84・6%の参加者から肯定的な評価をいただきました。一昨年から進めている人権そのものについて学ぶ「普遍的な視点からの学習」の成果だと思います。

〈話し合いへの参加について〉

77・9%の方に肯定的な評価をいただきました。参加型学習のよさを理解していただいている結果だと思います。

〈自分を振り返って〉

「とても参考になった16・8%」「参考になった66・5%」という結果でした。83・3%の方に肯定的な評価をいただきました。小地域懇談会を続けてきた成果だと思います。

アンケートの詳しい内容は、大山町同推協の広報誌「ぬくもり」17号でお知らせする予定です。

「高齢者の虐待^{ぎゃくたい}」について知っていますか？

☆高齢者の虐待とは、家族などの介護者による次の行為をいいます。

身体的虐待	たたく、つねる、ける、ベッドに縛りつけるなど	
介護・世話の放棄	空腹、脱水、栄養失調のままにする、ごみを放置するなど劣悪な住環境の中で生活させるなど	
心理的虐待	怒鳴る、ののしる、悪口を言う、無視する、意図的に恥をかかせるなど	
性的虐待	懲罰的に裸にして放置する、キス、性器への接触など	
経済的虐待	本人のお金を必要な額渡さない・使わせない、本人の不動産や年金、預貯金などを本人の意思や利益に反して使用するなど	

☆虐待かなと思ったら・・

「高齢者虐待防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」にもとづいて市町村に通報してください。通報者の個人情報 は秘密にされるため、不利益を受けることはありません。

☆高齢者虐待を防ぐために・・

介護は想像以上に大変です。いろいろな介護保険サービスを使って、介護による心身のストレスを減らすことも大切です。頑張り過ぎない介護をしましょう。困った時は、お気軽に地域包括支援センターや担当のケアマネジャーにご相談ください。

連絡先 地域包括支援センター ☎0859-54-2226